

MTDL 基礎研修（web 研修）

参加者の心得 Vr1.0

☆基本事項の確認

1) web 研修の開催条件※¹

- ①双方向性の確保を必須とする。
- ②Zoom ミーティングシステムの使用を推奨する。
- ③通信状態が安定した環境を確保し、
研修中に通信が途切れることがないように、運営者及び参加者も十分準備すること。
- ④チャット機能等は参加者同士でできないように、ホストで調整しておくことを推奨する。
- ⑤受講終了後、
簡単なアンケート（会員番号、氏名、簡単な感想）を出席確認と合わせて実施する。
- ⑥受講者はパソコンでの参加を限定とする。

※1：「2020年6月8日 生涯教育制度 現職者共通研修・現職者選択研修等の遠隔会議システムを利用した開催について」より一部抜粋

2) Web 研修版の時間配分

○MTDLP 概論（90分）

○MTDLP 演習（300分）

- ・各シート記入解説（50分）
- ・生活行為聞き取り演習（30分）
- ・演習事例・読み込み・すり合わせ（30分）
- ・課題分析シート課題重要性の決定（10分）
- ・アセスメント演習シートの作成（80分）
- ・プラン演習シートの作成（80分）
- ・発表、まとめ（20分）

○実践者研修（事例報告会）・MTDLP 事例登録に向けて（30分）

※対面式の時間配分と変わりありません、分割開催の場合も同様となります。

★Contents

- I : MTDLP 基礎研修までの準備
- II : 研修当日の流れ
- III : グループワークについて
- IV : 受講確認等
- V : その他

I : MTDLP 基礎研修、開始前日までの準備

1) Zoom のインストール

- ・公式サイトよりソフトをインストール してください。

公式サイト https://zoom.us/download#client_4meeting

2) 主催者から送付される

- ・ミーティング ID ・パスワード
- ・事前資料 ・参加者の心得 、 等・ ・資料は保存する。

3) 事前資料を印刷する

- ・講師は、共有画面で講義を行います。
- ・各シートの演習があるため、記載できるように事前に印刷をしてください。

※ミーティング ID や Pass は参加者、個人で十分に管理してください。

(メール転送や SNS などへの投稿はご遠慮ください)

II : 研修当日の流れ

1) 受付時間を確認する。

- ・時間に余裕をもって受付する。

2) インストールした Zoom アイコンを開き、「ミーティングに参加」をクリックする。

- ・「ミーティング ID 」 を 入力 、 下の段に自分の氏名を入力。

(例)「名前 (会員番号)」

- ・「ミーティングパスワード」を入力。
- ・「コンピューターでオーディオ参加」をクリック。

3) ログイン後

- ・「ビデオの開始」(左下)をクリックすると、自分の映像が表示(切替)されます。
- ・「ミュート」をクリックするとマイクの ON・OFF が切替されます。
- ・「マイク」および「ビデオ」をミュートにして参加する。

III：グループワークについて (質疑応答)

1) 講義中に質問があるときは「チャット」で質問をする。

- ・質疑応答の時間は、質問がある場合は「ビデオ」をオンにして待機する。
※講師・主催者の指示に応じてください。
- ・講師から指名されてから「マイク」をオンにして発言する。

2) グループワークについて

- ・ブレイクアウトルームへの移動は、講師・主催者の指示があってから移動する。
- ・グループ内で、講師・主催者への質問や何か困った時は、「ヘルプ」ボタンを押すと、講師・ホスト側が対応をしてくれます。

3) 講師から随時、反応を求められます。

- ・ZOOMの機能では、「手を挙げる」などの反応を示すことができます。

IV：受講確認 (アンケート・確認問題)

1) 受講終了後、簡単なアンケート又は確認問題が提供されます。

- ・最終的に、参加者リストと照合し、受講確認の証明となります。
※確実に主催者へ提出ください。

2) MTDL P研修の修了証について

- ・MTDL P研修の修了は、実践者研修(事例報告会)の履修または、事例登録報告制度への事例登録によって修了証が発行されます。
※概論の資料にも、研修制度の説明があります。熟読ください。

V：その他

日本作業療法士協会では、情報通信による会議支援システム「ZOOM」を推奨し、ZOOMを想定したweb研修開催マニュアルを構築しておりますが、各都道府県士会の研修システムにご対応のほどよろしくお願ひします。演習の部分については、その他のアプリケーション等を活用が条件付けされる可能性もあります。web研修の参加方法など、事前によく確認し参加するための準備をお願ひします。

例 「Googleドライブを活用したグループワーク方法」を活用する場合があります。

web研修では、研修中に通信が途切れることがないように通信状態が安定した環境を確保する必要性があり、受講者側のインターネット環境トラブルには、主催者が対応できない場合もあります。

2020.07/13

教育部生涯教育委員会・MTDLP 士会連携支援室